

荷物の梱包方法



1 梱包に適した箱の選択

✓ 品物の長さ、幅、高さを測り、6つの面すべてに緩衝材を入れた状態で、品物にぴったり合う箱を選びましょう。



✓ 配送用の箱を再利用する際は、古いラベルをすべて取り除き、穴や破れ、へこみがない高品質な箱を使うことが大切です。



重い品物の時は、ダブルカートンを使用します。



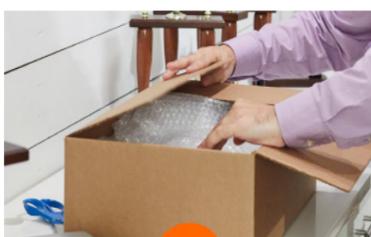
壊れやすい品物を送るときは、エアアクションやパッド入りの紙、発泡スチロールなど、少なくとも5~8cmの厚さの緩衝材を入れます。緩衝材は品物の6つの面すべてを覆うようにしてください。



また、壊れやすい品物には、二重箱詰め方式を使うこともできます。まず、5~8cmの緩衝材を箱に入れて梱包し、さらに大きな箱に入れて8cmの緩衝材を追加して梱包します。



ヒント：販売されている箱に表示されている寸法は、多くの場合、箱の内寸です。発送する時は、料金を計算するために箱の外寸を測る必要があります。



2

梱包作業

- ✓ 破損から守るために、箱の中で品物が動かないような緩衝材を選択します。
- ✓ ラベルのコピーを中に入れ、内側のフラップには荷送人と受取人の情報を記載します。これにより、ラベルが剥がれて無くなった場合でも、荷物を届けることができます。
- ✓ 鋭い部分や突き出ている部分は包んで、テープでしっかり留めます。



印刷物は一緒に縛ります。また、複数のアイテムを束ねて、動かないようにするのも良い方法です。



3

テープで封緘

- ✓ 幅5cm以上の梱包用テープを、天面と底面のすべてのフラップと継ぎ目に均等に6本以上貼ります。



完成すると、テープはHの形に見えます。



ダクトテープやマスキングテープは使わないでください。



4

ラベルの貼付

- ✓ パッケージの一番大きな面にラベルまたは住所用のパウチを貼ります。
- ✓ 必要に応じてラベルを貼ったり、貨物を識別できるようにします(貨物のセキュリティステータス、重量物、スペシャルサービス、危険物などが含まれますが、これらに限りません)。



パウチを使用する際は、配送ラベルを入れた後、必ず封をしてください。



ラベルやパウチは、箱の中央の継ぎ目や角には、絶対に貼付しないでください。これは、よくある間違いで、ダメージの原因になる可能性があります。

特別な梱包の方法



電子機器・電気製品：

LED・ネオンサイン、タッチスクリーン、スマートフォン、パソコン、集積回路、電動ロールブラインド、ウォールランプ、フロアランプなど

- 適切なサイズと強度の外箱を選択する
- 外箱に梱包する
- 確実に封緘し、ラベルを貼付する



美術品およびジュエリー：

美術品：

- **箱のサイズ**：作品の長さ、幅、高さを測ります。それぞれの寸法に（15cm）を加えてください。これが理想的な箱のサイズになります。
- **プロによる梱包**：貴重な美術品には、美術品梱包のプロへの依頼を検討してください。
- **緩衝材**：美術品を衝撃や動きから守るために、気泡緩衝材やフォーム、梱包用ピーナッツを使います。
- **箱の確実な封緘**：梱包用の幅広いテープ（5cm）を少なくとも3本使用し、底面をH貼りにします。
- **中身の動きの防止**：美術品を箱の中にしかりと収め、動かないようにします。

ジュエリー：

- **頑丈な梱包**：しっかりした箱やケースを使ってください。封筒は避けます。
- **個包装**：製品を柔らかい布やベルベットの袋、または気泡緩衝材で包み、破損を防止します。傷の原因になるような素材は使用しません。
- **空きスペースを埋める**：緩衝材を使用して、箱の中でジュエリーが動かないようにします。
- **二重箱（オプション）**：より確実な保護のために、梱包した箱を緩衝材を入れた大きな箱に入れ、両方の箱をしっかり密封します。



医療品：

医療機器や部品、化学薬品、臨床サンプル

- 液体サンプルは水漏れしない内装容器に入れる
- 吸水性の高い緩衝材を使用する
- 容器に入れた液体サンプルを更に大きな内装容器に封入する
- 二重にした内装容器を外箱に梱包する



衣類/繊維製品：

- **適切なサイズの箱**：品物がぴったり収まる箱を選択します。
 - 大きすぎる場合：中で動かないように緩衝材を使用します。
 - 小さすぎる場合：しわや破損の原因になることがあります。
- **底面を封緘する**：少なくとも3本の幅広いテープ（5cm）を使用して、H貼りにします。
- **ビニール袋（オプション）**：品物をビニール袋に入れることで、しっかり保護できます。
- **中身の動きの防止**：気泡緩衝材や梱包用ピーナッツを使って、空いているスペースをしっかり埋めましょう。



印刷物：

- **頑丈な梱包**：国際配送に適切で丈夫な箱を使用します。重い印刷物にはダブルカートンの箱が最適です。
- **緩衝材**：品物を衝撃から守るために、十分な気泡緩衝材や梱包用ピーナッツ、発泡シートを使用します。
- **防水袋（重要）**：大切な書類や印刷物は、湿気や水から守るために防水袋に入れます。
- **箱の確実な封緘**：丈夫な梱包用のテープとH貼りにより、さらに安全性を高めます。

よくある梱包の問題



薄い箱、大きすぎる箱、または小さすぎる箱

薄い箱は潰れたり破れたりすることがあり、大きすぎる箱は中身が動いたり、小さすぎる箱は潰れたりする可能性があります。



緩衝材の不足

緩衝材が不足していると、箱の中で品物が動いて破損の原因になる場合があります。



ゆるく封緘された箱

箱がしっかりと密封されていないと、輸送中に箱が開き、品物がなくなったり壊れたりする原因になります。